

③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

検討目的と調査の概要

- ・御堂筋なんば駅周辺エリア全体の価値向上を目指す。
 - ・（一過性でなく、）空間的な改変による、持続的な状況改善を目指す。
 - ・改変箇所だけでなく、全体・周辺への効果の波及を目指す。
- ⇒回遊状況の現状および、特性を把握するため、行動のデータ分析・観察調査、空間特性の指標化を実施

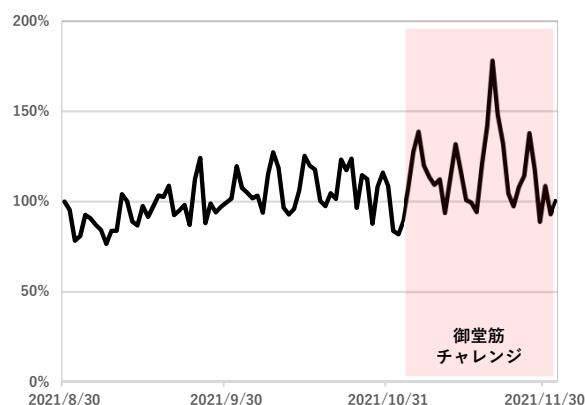


③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

i) 人流データ等による回遊状況の把握

- ・実験期間中は、実験区間への来訪者数（GPSデータ）が期間前と比べて増加している
- ・来訪者の属性として、中央区・北区・浪速区・西区に勤務する人の割合が特に高い
- ・通勤等で南海なんば駅付近を通行する人の立ち寄りや回遊が多くなっていたものと考えられる

▼実験区間への来訪者数（再掲）



▼来訪者の特性（居住地・勤務地）

居住県（1%以上）

大阪府	68.35%
兵庫県	6.85%
奈良県	6.17%
京都府	2.92%
東京都	2.47%
和歌山県	1.91%
愛知県	1.23%
福岡県	1.12%
岡山県	1.01%

居住市区（1%以上）

大阪市中央区	4.26%
枚田市	3.59%
大阪市浪速区	3.25%
東大阪市	3.03%
大阪市淀川区	2.58%
大阪市西区	2.58%
大阪市西成区	2.47%
豊中市	2.47%
奈良市	2.36%
大阪市住吉区	2.24%
大阪市生野区	2.13%
大阪市住之江区	1.91%
大阪市阿倍野区	1.80%
堺市北区	1.68%
尼崎市	1.68%
大阪市大正区	1.57%
大阪市東淀川区	1.57%
堺市西区	1.46%
大阪市北区	1.46%
大阪市天王寺区	1.46%
大阪市平野区	1.46%
大阪市東成区	1.46%
八尾市	1.35%
堺市堺区	1.35%
百済市	1.35%
堺市南区	1.23%
大阪市東住吉区	1.23%
茨木市	1.12%
岸和田市	1.01%

勤務県（1%以上）

大阪府	73.84%
兵庫県	5.10%
奈良県	3.10%
京都府	2.88%
東京都	1.88%
和歌山県	1.66%
愛知県	1.55%
福岡県	1.11%

勤務市区（1%以上）

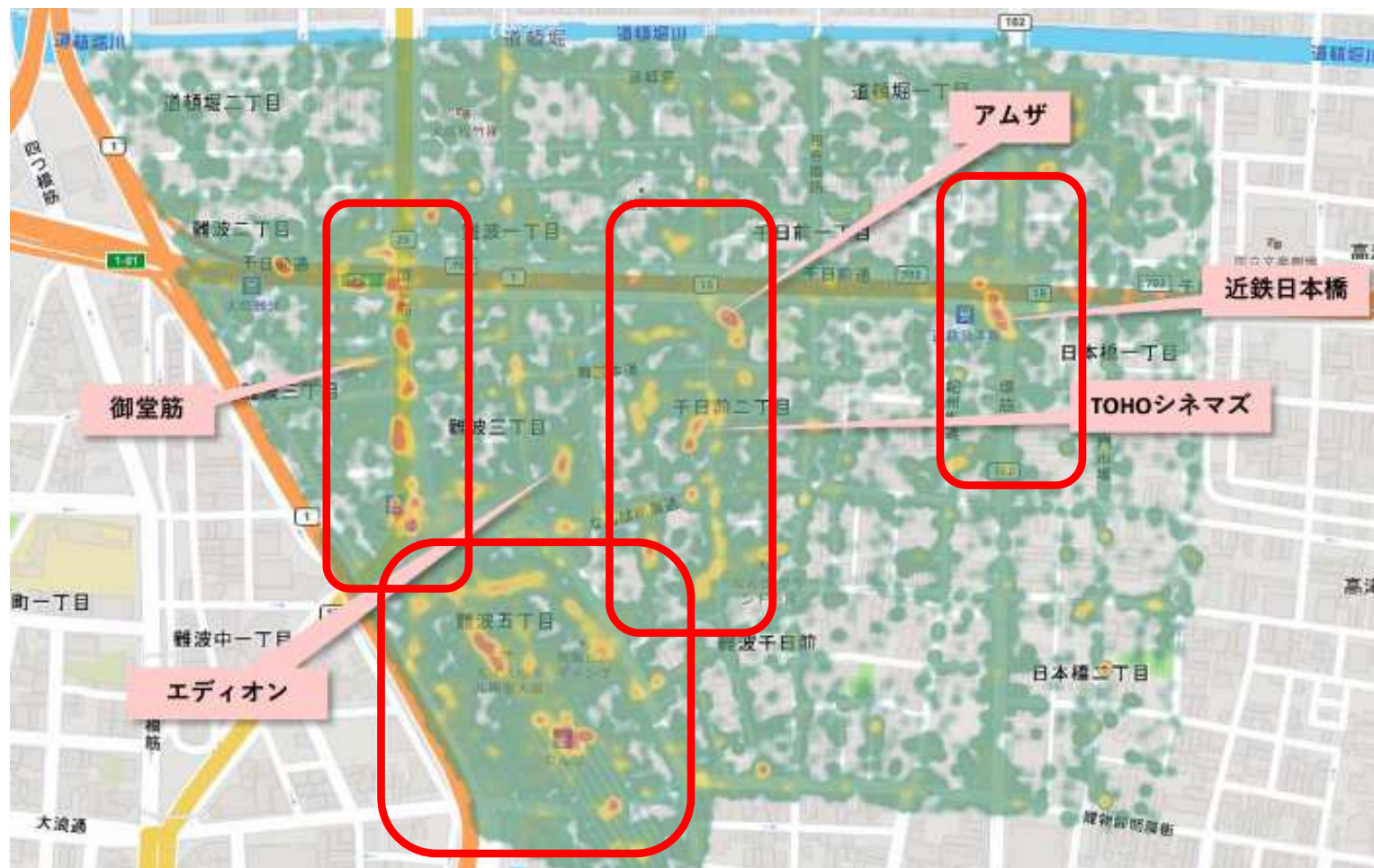
大阪市中央区	16.41%
大阪市北区	4.77%
大阪市浪速区	4.43%
大阪市西区	4.21%
大阪市淀川区	2.99%
枚田市	2.22%
大阪市住之江区	2.22%
東大阪市	2.22%
豊中市	2.00%
大阪市阿倍野区	1.88%
堺市堺区	1.77%
堺市北区	1.66%
大阪市住吉区	1.55%
大阪市天王寺区	1.55%
大阪市西成区	1.44%
八尾市	1.22%
奈良市	1.22%
大阪市東住吉区	1.11%
大阪市此花区	1.11%
大阪市生野区	1.11%

③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

i) 人流データ等による回遊状況の把握

- ・御堂筋付近では、**千日前以南の御堂筋上や南海なんば駅への来訪が多**くなっている
- ・また、千日前商店街付近、日本橋駅（近鉄・大阪メトロ堺筋線）付近の来訪が多くなっている

▼周辺エリアの来訪状況



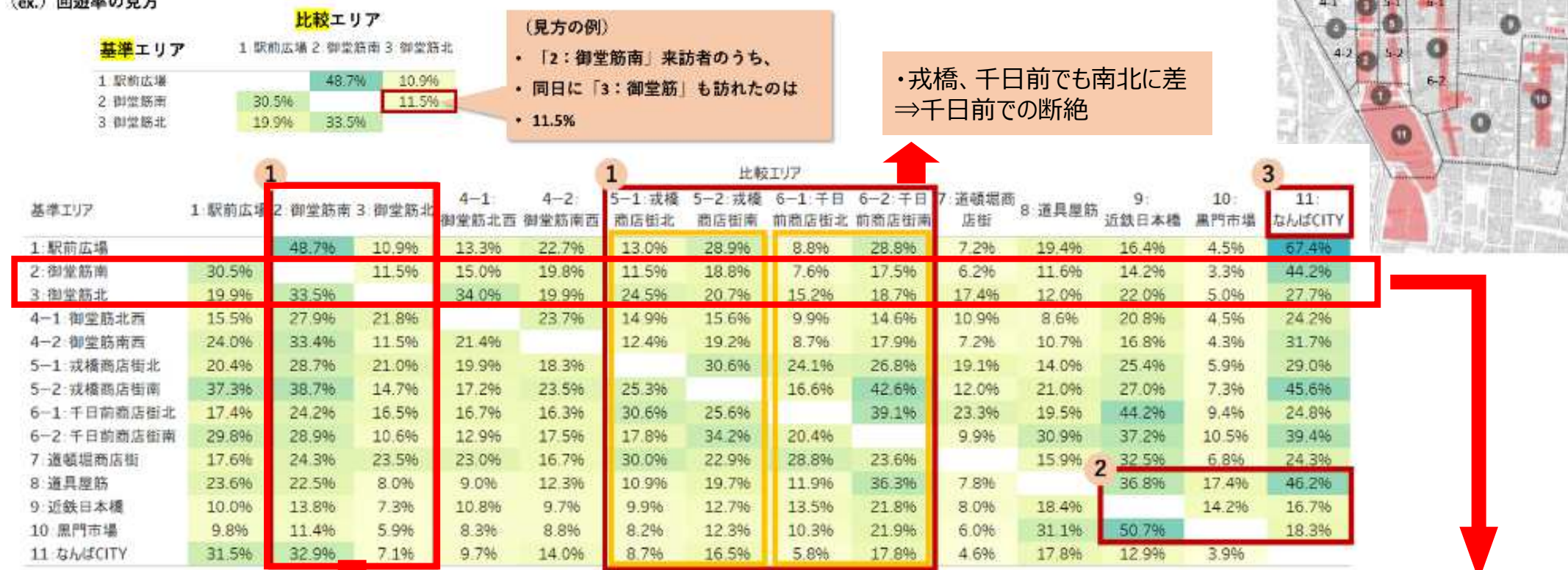
③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

i) 人流データ等による回遊状況の把握

- ・来訪の多い**なんば駅付近**では、駅からその周辺の**比較的狭い範囲の動きが多い**と考えられる
- ・**御堂筋北側区間**を経由するものは、比較的東西・南北に**広い範囲を回遊**していると考えられる（主に娯楽、観光等と想定）
- ・いずれも、**千日前通で動きが途切れる傾向**がある

▼エリア内の流動状況・特性

(ex.) 回遊率の見方



- ・御堂筋南区間は、他の各エリアからアクセスされる場所の上位
- ・特に駅前広場、戎橋筋商店街南、なんばCITYとのつながりが強い
⇒御堂筋南区間は、南海なんば駅、大阪難波駅に挟まれており、そこから周辺での動きで経由・立ち寄りがされやすい
⇒千日前通の影響でそれより北側とは分断される傾向

- ・御堂筋北区間からの方が、概ねどのエリアへもアクセスしている割合が大きい
- ・特に御堂筋北西、戎橋筋商店街北・南、日本橋等に行く割合が大きい
⇒御堂筋北区間を通る人では、広いエリアに回遊する割合が大きい
⇒道頓堀商店街付近の東西の回遊、戎橋筋商店街を軸とした南北の回遊の途中で御堂筋が経由されやすい

③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

i) 人流データ等による回遊状況の把握

- ・地下出入口からの動きをみると、利用した出入口から遠い箇所への回遊は少なく、**目的地近くまでのアクセスに地下道が使われている**と考えられる
- ・地下道を使う人は地上では回遊しにくい傾向がある可能性がある

▼地下出入口と各エリア間の流動状況

基準エリア	1: 駅前広場	2: 御堂筋南	3: 御堂筋北	4-1: 御堂筋北西	4-2: 御堂筋南西	比較エリア	5-1: 戎橋	5-2: 戎橋	6-1: 千日	6-2: 千日	7: 道頓堀南	8: 道頓堀南	9: 近鉄日本橋	10: 黒門市場	11: なんばCITY
E-1/E-3		70.0%	18.6%	17.3%	23.5%		24.9%	49.1%	11.2%	54.9%	11.0%	37.4%	17.0%	5.4%	62.8%
E-2		64.5%	18.1%	18.1%	25.8%		22.2%	48.4%	16.5%	48.4%	11.3%	31.0%	25.0%	4.8%	67.3%
E-5		66.4%	21.3%	20.7%	19.4%		19.5%	38.7%	10.3%	50.4%	9.0%	37.8%	20.7%	4.2%	69.9%
E-10		67.2%	19.7%	22.6%	20.9%		16.1%	33.2%	8.5%	28.7%	4.6%	18.2%	16.1%	2.9%	80.6%
四海楼	36.5%		28.5%	30.9%	61.5%		17.0%	36.8%	10.1%	23.6%	10.1%	11.5%	19.1%	4.5%	38.5%
中央改札	54.0%		31.6%	32.3%	33.2%		19.2%	32.2%	10.2%	24.7%	8.6%	12.9%	21.0%	4.4%	67.0%
11番出入口	38.1%		33.6%	25.7%	47.8%		24.8%	66.4%	11.5%	39.8%	11.5%	17.7%	20.4%	5.3%	39.8%
14番出入口	17.1%	45.2%		48.1%	17.6%		46.5%	23.3%	26.8%	18.8%	43.5%	8.2%	21.7%	3.0%	20.5%
15-A番出入口	18.5%	43.8%		49.8%	22.1%			33.1%	29.9%	21.4%	27.4%	8.5%	24.2%	3.6%	19.6%
25番出入口	16.1%	47.6%		63.1%	16.7%		35.0%	18.6%	13.9%	16.7%	37.5%	4.7%	19.9%	2.8%	23.0%
B-12	23.6%	50.0%	53.6%	40.9%	25.5%			49.1%	33.6%	40.0%	25.5%	14.5%	34.5%	8.2%	34.5%
B-14	24.2%	43.0%	36.0%	33.3%	23.7%			45.1%	40.6%	51.8%	21.9%	13.9%	46.7%	9.2%	29.2%
B-13	34.5%	47.3%	36.0%	33.3%	23.1%		51.9%		24.2%	61.7%	17.8%	20.8%	33.7%	5.7%	39.8%
B-15	28.4%	43.5%	31.3%	28.8%	29.1%		45.3%		28.4%	75.9%	15.8%	18.0%	44.2%	7.9%	30.9%

- ・全体に御堂筋南区間が、各出入口からアクセスされている
- ・B12は千日前の北側にあり北区間の方が多
⇒比較的近い出入口を利用した移動がされる
⇒千日前通での断絶の影響

- ・戎橋、千日前でも南北に差
⇒千日前を超えて北には行きにくい

- ・全体に数値の偏り、ばらつきが大きい
⇒地下出入口を離れて回遊しにくい傾向となっている



③エリアの回遊性創出とスマート化への検証

i) 人流データ等による回遊状況の把握

★今後の検討イメージ（予定）

○ コロナ前後比較

- ・ 御堂筋広域の来訪者に関する同日回遊（広域）について、御堂筋チャレンジの前後比較を実施
コロナ前（2019/11/4-12/3）／コロナ後（2021/11/3-12/2）

○ 地下と地上の回遊

- ・ 「北改札」「南改札」と地上との回遊について表に追加整理

○ その他

- ・ 流動状況の図示、地下出入口毎の利用量の整理等を実施